学校番号	302

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「改訂版　日本史Ａ」（山川出版社）						
副教材等	最新日本史図表　二訂版（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史的事象の意味・内容・起点・推移・背景などを総合的に考察する。
・我が国の伝統と文化についての認識を深める。
・近現代の歴史的事象と現在との結びつきを考え、歴史への関心を高め、歴史を学ぶ意義に気づく。

2　学習の到達目標

・近現代の様々な史料に触れ、歴史的思考力を培う。
・グラフや地図などの資料を活用し、論理的な考察ができる。
・歴史的事実を多面的・多角的に考察し、公正に判断する能力を育成する。
・世界の歴史や地理的条件と関連づけ、現代の諸課題に着目して考察し、国際社会に主体的に生きる力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	我が国の歴史、伝統、文化について認識を深めるため、また世界の歴史や地理的条件と関連づけて歴史的事象を理解しようとしているかどうか。	授業で理解し、得た知識を総合的に捉え、他者に対し論理的に説明できるか。様々な歴史的事象を客観的な視点で理解し、適切に表現できているかどうか。	資料やグラフ等の読み取り、また様々な歴史的事象を多面的、総合的に捉えて、論理的に考察できるか。	様々な歴史的事実を背景・経過・意義を含めて総合的に理解できているかどうか。また、それぞれの知識を有機的に結合できているかどうか。
評価方法	授業プリント ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 授業プリント ワークシート	定期考査 授業プリント ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	近世社会の動揺と近代への胎動	・幕藩体制の動揺と政治改革 ・新しい経済構造と学問の芽生え ・日本をとりまく世界の変容	○ 	○ ○	 ○ 	○ ○ ○	a：農村や都市が変化して幕藩体制が動揺する中で，幕府や諸藩が行った諸改革について，その特徴を理解できたか。 b：幕府・諸藩の経済的窮乏，百姓一揆・打ちこわしの頻発などに着目して，天保期を中心に幕府・諸藩の諸政策を考察できたか。 c：農村家内工業からのマニュファクチュアの形成，藩政改革からの雄藩の出現，洋学・国学など新しい批判的な学問・思想の形成などの動きを，近代化の芽生えとして統一的に考察できたか。 d：列強の進出の強まりとともに，幕府の鎖国政策が次第に動揺を深めていく経過が理解できたか。	授業プリント 定期考査
	開国と明治維新	・アジアの激動と日本の開国 ・江戸幕府の滅亡 ・明治維新 ・富国強兵 ・明治初期の外交 ・殖産興業と文明開化	 ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a：最初の対等条約である日清修好条規と，日本が他国におしつけた不平等条約である日朝修好条規の性格の相違について，また思想や教育制度から生活風俗に至る「文明開化」の諸相から，明治日本を特徴付ける性急な西欧模倣に注目できたか。 b：幕末の政局の展開を，高まる外圧や，世直し一揆・「ええじゃないか」に象徴される民衆の動向と関わらせて考察できたか。 c：日米和親条約・修好通商条約の締結，開港による経済情勢の変化に着目し，それが幕末の政局に与えたインパクトを理解できたか。また岩倉使節団の出発から留守政府による国内改革推進，征韓論争・明治六年の政変・西南戦争までを，一連の政治過程として考察できたか。 d：版籍奉還・廃藩置県によって封建的割拠制が克服され，統一的国家が形成されたことの意味に注目できたか。	授業プリント ワークシート 定期考査

前期	立憲国家の成立	・自由民権運動 ・立憲制の成立 ・立憲政治の展開 ・日清・日露戦争 ・産業革命と社会の変容 ・明治の文化	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ 	 ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a：立憲政友会の成立から桂園時代の開幕に至る過程について，軍備の拡張の視点を踏まえて考察できたか。 b：寄生地主制の進展，ストライキの勃発や足尾鉱毒事件などに見られる社会運動の発生，これに対する大逆事件などの国家的弾圧に着目できたか。 c：日露戦争における日本の「勝利」がアジア諸国の民族独立や近代化運動を刺激した反面，その後の韓国併合や満州進出の動きが，国民の対外意識や近隣諸国の受け止め方の変化につながったことについても考察できたか。 　またその結果，民間の主導部門の発展ばかりでなく，国家による産業基盤整備・重工業の育成にも着目して，資本主義の確立過程を総合的に考察できたか。 d：松方財政によるデフレーション，特に農村不況が，民権運動の急進化の背景をなしたことを理解できたか。 　政府による憲法制定作業が国民に対して全く秘匿され，完成した憲法が一方的に国民に「与えられた」経緯を理解できたか。 　国家主義的な思想の形成，実証的な学問研究の発展，欧米の科学技術の導入，高い就学率を誇る教育の普及・拡充に着目して，国民が主体的に文化の創造に取り組んだ姿勢を考察できたか。	授業プリント ワークシート 定期考査

前期	第一次世界大戦と日本	・政党政治の展開 ・ワシントン体制 ・経済・社会の変容 ・市民文化	 ○	○ ○ 	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a：学問・芸術・出版・マスメディアなどを具体的に取り上げ，欧米文化の関わりとその浸透度，社会風潮との関連付けに着目して考察できたか。 b：大戦後の中国・朝鮮における民族運動の高まりに注目できたか。 c：大戦後の世界的なデモクラシーの風潮や日本の産業構造の変容（労働者の増大）を背景に，多方面で社会運動の高まりが見られたことを考察できたか。 d：大正政変以降，政党の勢力が国民統合において中心的役割を果たすようになる事情を理解できたか。ワシントン体制を，列強の仲間入りを果たした日本をアメリカ中心の協調体制に組み込むものとして理解できたか。	授業プリント 定期考査
後期	昭和の恐慌と満州事変	・恐慌の時代 ・政党内閣期の内政と外交 ・軍部の台頭	○ ○	○ ○ ○		○ ○ ○	a：昭和初期の日本の経済恐慌の原因や状況を理解し、その後の軍国主義への道を展望させながら多角的に捉えようとしている。 b：恐慌の中で農村に生じた危機に着目し，社会主義運動の高まりと，これに対する徹底した弾圧の動きを，次第に緊迫する内外情勢と関連させて考察できたか。 d：「震災手形」「金解禁」など，恐慌の展開を把握するために不可欠な経済用語に対する理解を深められたか。 　天皇機関説問題や激しい弾圧による社会主義者の大量転向などを，国内の戦争反対勢力を一掃する動きとして理解できたか。	授業プリント 定期考査

後期	第二次世界大戦と日本	・日中戦争 ・重化学工業化と統制経済 ・第二次世界大戦と太平洋戦争		○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	b：軍の一部によるクーデタ（二・二六事件）が鎮圧された後に，かえって軍部の政治介入が強まったのはなぜか，事件後の軍内部の勢力配置の変化に注目して考察できたか。空襲・沖縄戦・原爆投下などに加え，アジア各地での戦闘，占領地域での住民動員などにも注目できたか。 c：国民生活や文化の各方面にわたる国家統制の強まりを，具体的な事例に則して考察できたか。 d：なぜ日本はアメリカとの戦争に踏みきったのか，経済的背景を含め，総合的に考察することができたか。	授業プリント ワークシート 定期考査
	占領下の日本	・占領と改革 ・冷戦の開始と講和	 ○	○ ○	○ 	○ ○	a：中華人民共和国の成立，朝鮮戦争の勃発，経済面では経済安定九原則，政治面では警察予備隊の新設に着目して，占領政策の転換について考察できたか。 b：労働三法・教育基本法の制定などを取り上げ，五大改革をはじめとするＧＨＱによる諸政策が，日本の国民の戦争に対する反省に支えられて実施されたことに気付くことができたか。 c：女性参政権が認められ，政党政治が復活する中，主権在民・平和主義・基本的人権の尊重の３原則を中心とする日本国憲法が制定された経緯と意味を，国民生活の状況も踏まえて考察できたか。 d：サンフランシスコ平和条約の調印による日本の独立国としての主権回復の意義と，安全保障をアメリカに依存する日米安保条約の締結の意味を理解できたか。	授業プリント ワークシート 定期考査

後期	経済繁栄と保守長期政権	・55 年体制 ・高度経済成長期の経済と社会	 ○	○ ○	○ ○	○ ○	a：産業構造の高度化などを踏まえ，開放経済体制のもとでの日本の動きを考察できたか。 b：消費の拡大による豊かさの享受，核家族化，交通網の整備などによる都市化，マスメディアの発達などを取り上げる一方，農村の過疎化や公害問題などの社会問題にも注目したか。 　経済大国への道には，国民の努力によって築かれた豊かさ，ＯＤＡなどの社会貢献の重要性，貿易摩擦や円高への対応などがあったことに着目できたか。 c：保守合同による自由民主党の成立から経済成長を背景とした安定した保守政権の誕生に至るまでを，外交・政治・経済を踏まえて多面的・多角的に考察できたか。 　ドル=ショックや石油危機によるマイナス成長に対する政府の行財政改革について，身近な事例を取り上げ，考察できたか。 d：ＭＳＡ協定・新安保条約・日ソ共同宣言・日韓基本条約・ＬＴ貿易などを取り上げ，外交・政治の再編過程を把握できたか。	授業プリント 定期考査
	現代の世界と日本	・冷戦の終結と日本 ・日本社会の変容	 ○	○ ○			a:原子力に対する安全性，国連平和維持活動への対応，経済不況に対する国内改革など，具体的な例をもとに理解することができたか。 b：冷戦終結後の東欧革命，55 年体制が崩壊した政治状況，バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などを取り上げ考察できたか。	授業プリント

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。